

政治に理解を！三浦半島政策制度学習会「多聞善塾」を開催！



8月23日（木）18時30分から三浦半島地域連合版『多聞善塾』をヴェルクよこすかにて118名参加のもと開催しました。

冒頭、滋野議長は現在の政治状況や格差社会・貧困の問題にふれ『私たちが安心して暮らし、働き、また家族との生活水準を守り高めていくには、我々働く者の代表を各級議会に送り出すことが極めて重要な取り組み』であるとの挨拶をしました。



続いて連合神奈川から林事務局長より『政治活動の必要性及び2019統一地方選挙の取り組み』について講義を受けました。林事務局長は参議院選挙で連合組織内候補予定者が立憲民主党と国民民主党にわかれていることにふれ、連合神奈川として参議院選挙の政党分裂の構図を統一地方選挙に持ち込まず、地方では政党が違っても組織内議員には従来通りの支援を呼びかけました。

今回の多聞善塾は、構成組織の役員のみならず多くの組合員に政治学習を深めてもらうこと、政治に関心をもってもらうことを目的に『大村博信氏』『近藤大輔氏』のお二人には神奈川県議会の報告をして頂きました。

はじめに『大村博信氏』は、県議会で議論されている三浦半島地域に関する課題を中心に話をしました。西日本豪雨災害にふれて、三浦半島地域も非常に多くの土砂災害指定区域があることに注意喚起しました。その他、浸食された海岸の再生や県道久里浜田浦線開通の効果と課題などについて講演しました。



次に『近藤大輔氏』は、神奈川県全体の課題である『2020年に向けた神奈川県の取り組み』について話しました。なんとといっても2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、いくつかの競技が神奈川県・三浦半島で行われることにふれ、道路や交通インフラ・宿泊施設の整備などの必要性を訴える中、神奈川県の予算についても話し、東京都と比べ人口のわりに予算がすくない中で様々なことをおこなっていかねばならない難しさについて講演しました。



お二人の講演のあとに多くの『三浦半島地域連合議員団』を紹介し、最後は安藤議長代行が自民党政権にふれ、今の状況を変えていくためにも2019政治決戦に協力をもらいたいとの挨拶で『多聞善塾』を終了しました。

お二人の講演のあとに多くの『三浦半島地域連合議員団』を紹介し、最後は安藤議長代行が自民党政権にふれ、今の状況を変えていくためにも2019政治決戦に協力をもらいたいとの挨拶で『多聞善塾』を終了しました。